

## 脳神経外科とは



### 【診療の内容】

脳に関わる外科治療（手術、血管内からのカテーテル手術）を行っています。脳卒中急性期治療、脳卒中予防治療、脳腫瘍、三叉神経痛・顔面痙攣などの機能障害に対する外科治療、脊椎・脊髄疾患（頸椎・腰椎ヘルニア、脊髄腫瘍等）、頭部外傷などの外科治療を行っています。

### 【当センター脳神経外科の特色】

特に脳動脈瘤、脳腫瘍（下垂体腫瘍を含む）治療に力をいれています。手術治療時には、合併症を最小限に抑えるために術中モニタリングを積極的に取り入れて安全な治療を心がけています。

### 【外来診療担当表】

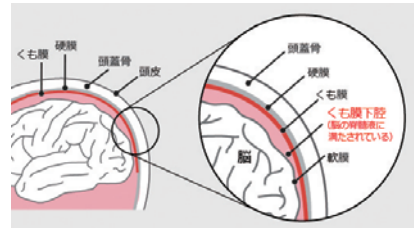
	月	火	水	木	金
午前	弘中 (部長)	竹島 (非常勤)	横山(昇)	弘中 (部長)	横山(昇)
午後	—	竹島 (非常勤)	横山(昇)	—	横山(昇)

# 病気の話

## くも膜下出血

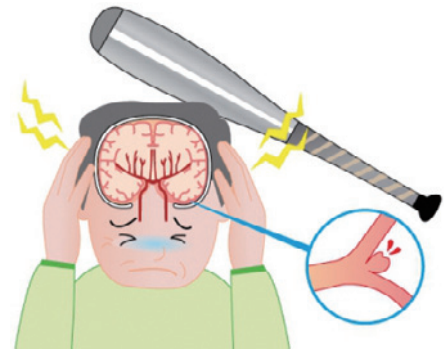
### くも膜下出血とは？

脳を包んでる「くも膜」の内側に出血を起こす状態を「くも膜下出血」といいます。



### くも膜下出血はどのようにして起こるの？

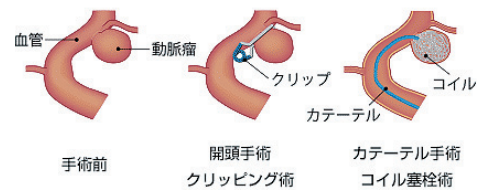
くも膜下出血は突然死の中の6%余りを占め、前触れもなく突然起こります。症状は、軽症な患者さんで、後頭部を金属バットで殴られたような痛みがおこり、重症な方は頭痛、嘔吐を来された後、突然意識をなくして倒れることが多いです。



### くも膜下出血の原因、治療法はなにですか？

多くは「脳動脈瘤」と呼ばれる動脈のコブからの出血で起こります。

一旦、破裂した動脈瘤からの再出血を防ぐために外科治療（開頭クリッピング術、血管内カテーテル手術）が必要になります。



### くも膜下出血の後遺症はどんなことが起こるの？

脳の病気では常に後遺症が問題となります。

治療がうまくいって命をとりとめたものの、手足の麻痺、言語が話せない、物忘れがひどくなる、ご飯がうまく食べられないなどの後遺症で苦しむこととなります。



### くも膜下出血の予防はできますか？

脳ドックなどでMRA(血管だけを写す撮影)を行い、破裂する前の「脳動脈瘤」を発見し、手術を行うことで予防できます。特にご家族でくも膜下出血になっておられる方、高血圧のある方、喫煙される方では破裂する危険が高くなりますので脳神経外科医に相談してください。

